

よしかわ

2022.11

News from Yoshikawa City Council

議会だより

No.195

発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地
TEL.048 (982) 9421 (議会事務局 直通)
FAX.048 (981) 5392
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>



目次CONTENTS

- 定例会概要・決算…………… ②
- 委員会審査概要…………… ⑥
- 答えて市長！一般質問…………… ⑧
- 議員提出議案（意見書）…………… ⑬
- 審議結果…………… ⑭

議会だよりが
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検索



9月定例会 概要



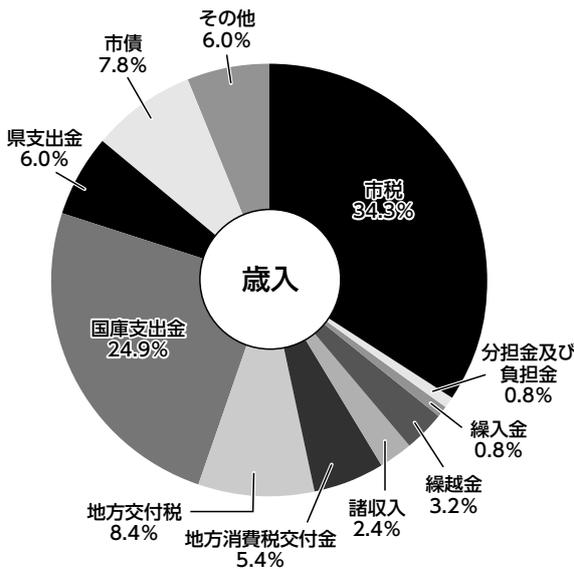
令和4年9月定例会は、9月2日から9月26日までの25日間の開催となりました。
今定例会では、令和3年度一般会計決算の認定をはじめ、令和4年度吉川市一般会計補正予算(第4号)などの市長提出議案23件(2~5ページ)、議員提出議案として3件の意見書(13ページ)などを審議し、議決しました。(審議結果は14~15ページ)
その他、「市政に対する一般質問」(8~12ページ)をお知らせします。

令和3年度決算を認定!

◆一般会計決算

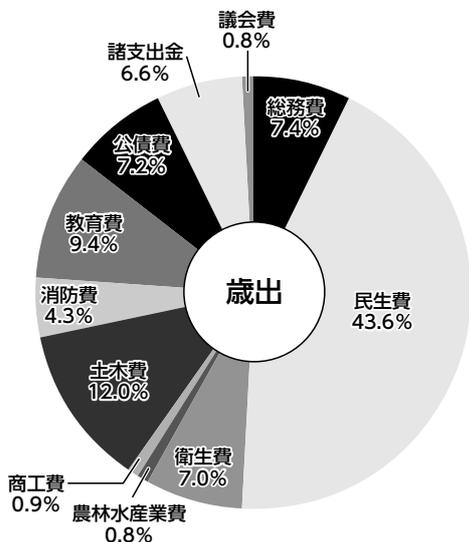
令和3年度一般会計決算は、歳入が283億5551万7千円、歳出が271億7220万1千円となりました。前年度比は、歳入総額は25億9693万8千円(8.4%)、歳出総額は28億7141万4千円(9.6%)の減少となりました。
歳入は、特別定額給付金給付事業の終了に伴い「国庫支出金」が前年度に比べて54億8827万7千円減少しました。一方で、「地方交付税」が8億1098万6千円、土地区画整理事業用地売却収入等により「財産収入」が7億9429万6千円増加しました。
歳出は、子育て世帯や住民税非課税世帯等に対する臨時給付金事業により「民生費」が17億2942万7千円増加しました。

歳入



	決算額 (千円)
市税	9,729,143
分担金及び負担金	214,797
繰入金	227,627
繰越金	908,840
諸収入	685,856
地方消費税交付金	1,519,212
地方交付税	2,376,487
国庫支出金	7,072,360
県支出金	1,700,980
市債	2,224,024
その他	1,696,191
歳入合計	28,355,517

歳出



	決算額 (千円)
総務費	2,003,215
民生費	11,852,331
衛生費	1,908,272
農林水産業費	227,277
商工費	250,580
土木費	3,263,490
消防費	1,176,505
教育費	2,564,935
公債費	1,946,303
諸支出金	1,778,284
議会費	201,009
歳出合計	27,172,201

令和3年度に実施された
主な事業

◆新型コロナウイルスワクチン接種

おあしす、中央公民館にワクチン接種会場を設営し、対象者へのワクチン接種を行いました。また、コールセンターを設けてワクチン接種に関する問い合わせや予約等に対応しました。

そのほか、在宅療養者へ食料やパルスオキシメーターの配布を行いました。



◆子育て世帯への生活支援

長期化するコロナ禍に伴い、その影響を受けた子育て世帯の家計を支援するため対象となる児童1人あたり10万円の給付を行いました。さらに低所得のひとり親世帯を対象に児童1人あたり5万円の臨時特別給付金を支給しました。

◆生活困窮者の自立支援

離職や自営業の廃業後2年以内である場合、または就業機会等の減少により経済的に困窮し、住居を失った方や失うおそれのある方に対して、家賃相当分の住居確保給付金を支給し、安心して就職活動が行えるように支援しました。また、支援員が生活や仕事に関する問題について話を伺うとともに、ハローワーク等と連携して就労支援を行いました。

◆市内事業者等の発展支援

市内事業者等が販路開拓や設備投資などの経営状況の改善を目指す取り組みの経費に対し、上限を30万円（補助率4分の3）とした補助金を交付しました。

対象の事業者は、前年または前々年の同月と比較して売上高が5%以上減少していること等が要件となりました。コロナ禍の影響を受けている市内事業者等を支援することで、地域経済の活性化を図りました。

◆第6次総合振興計画の策定

令和4年度から令和13年度までの吉川市が「目指すべき将来都市像」「まちづくりの基本理念」「まちづくりの目標」等を定め、それらを実現するための様々な分野における取り組みの方向性について体系的に定めた計画を策定しました。

◆町名地番変更

吉川中央土地区画整理事業地内の町名地番変更が令和3年8月7日に実施されたことに伴い、対象地域にお住まいの方や事業所へ新しい住所のお知らせや必要な手続きを通知したほか、現地調査、街区表示板※の設置、住所新旧対照表を作成しました。



※街区表示板（がいくびょうじばん）
住居表示に関する法律に基づき、市が電柱等に設置しています。

◆特別会計・企業会計

特別会計は特定の目的の事業を行うために、一般会計とは別に設置された会計のことです。

皆さんの健康保持に欠かせない国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療事業のほか、生活排水を浄化して住みよい環境を維持するための農業集落排水事業や吉川美南駅東口周辺地区のまちづくりを行う土地区画整理事業があります。

企業会計は、市が経営する企業の会計のことです。日々の生活には欠かすことのできない水道事業及び下水道事業があります。決算は左表のとおりです。

●特別会計決算

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	6,877,252	6,599,851
農業集落排水事業	39,750	38,288
介護保険	4,120,629	4,033,262
後期高齢者医療	757,493	745,055
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業	2,962,178	2,955,449
下水道事業※	収益的	1,524,319
	資本的	790,510
水道事業※	収益的	1,600,660
	資本的	89,460

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てん。

決算討論

〔一般会計〕

一般会計決算に対し、5名の議員が討論をおこないました。



― 反対討論 ―

市民の会・無所属

岩田 京子 議員

コロナ対策として自治体独自の支援が期待された交付金3億9千万円。半分以上が施設整備・設備投資等「モノ」に充てられ、「人」への支援が1%だった。貸付事業がリマンショック時と比較し、20倍という状況の一方で、市は積立金を増やし財政を立て直した。冷たい姿勢の表れ

だ。

SDGsについては、庁内推進会議が1回のみ。具体的な取り組みが見えない。さらに、職員の25%がSDGsを理解できておらず、4割がSDGsの視点で仕事に取り組めていない。SDGs3年目のこの結果に落胆が隠せない。

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法 議員

コロナ禍、10億円を超える赤字です。財政調整基金は、1年間で7億円積み増して20億円にもなっています。厳しい生活を余儀なくされている市民生活を支える予算の使われ方だったのか問われます。高齢者や障がいを持つ方の外出支援策が要望に応えていません。道路舗装改修などの事業は、年間計画をつくり市民に明らかにすべきです。学

校体育館の室温測定記録を残さないなど、リスクマネジメントの視点が欠けています。演劇だけでなく、あらゆる文化芸術活動を支援すべきです。

― 賛成討論 ―

公明党吉川市議員団

大泉 日出男 議員

令和3年度は、日常生活と社会経済活動の両立が大きなテーマとなりました。コロナ禍において、学校環境の整備の充実、小学校トイレの洋式化、子育て支援関連の給付金、中学校区でのコミュニケーションスクールの導入、事業者に対し農業を含めた支援補助金、文化芸術基本条例の制定、防災意識啓発運動の推進など様々な点での予算の執行を評価し、賛成とします。

市民の会・無所属

伊藤 正勝 議員

この1年。ワクチン接種が一齐に始まり「Withコロナ」に向けて収入減や生活の

影響に対する各種の支援や助成等市の業務は大幅に増大。全市民対象の予防接種。医師看護師の確保や市民への連絡調整。当日対応や予後への目配り等全庁上げての取り組み。時代は転換期。デジタルは推進本部を設置。オンライン会議の日常化。学校はICT教育へ。SDGs「持続的発展へ」は第6次総合振興計画に織り込み次への備えも。美南駅東口開発等基盤作りも。技量を磨き輝く市役所にとエール。

未来会議よしかわ

稲葉 剛治 議員

令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の影響が続きました。国の緊急的な対策や予算措置など施策の内容については是非はあるかと思えます。しかし、こうした予算があるならば対象の方にしっかりとサービスを行き渡らせる事が大事です。吉川市においては、国や県、関係機関との連携を図りながら確実

かつ迅速に対応いただきました。引き続き、市民の方に向けた施策、情報が確実に行き渡るようお願い申し上げます。



〔国民健康保険特別会計〕

国民健康保険特別会計決算に対し、1名の議員が討論をおこないました。

― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

一年半以上の滞納者等に発行される資格証明書が14世帯に発行された。資格証明書の発行は受診抑制・受療権・生存権の侵害に当たる可能性が非常に高く、発行するべきではない。県内63自治体中、発

行しているのは19自治体。吉川市も、発行をやめるべき。問題の本質は、国保税の負担が重すぎるからだ。

【介護保険特別会計】

介護保険特別会計決算に対し、1名の議員が討論をおこないました。

― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

政府は昨年11月、介護職員の給与を今年2月から月9千円程度アップするとした。10月以降は報酬改定により処遇改善が行われる。昨年8月以降、高齢者施設の入所者の補足給付が改悪され、月2万5千〜6万9千円負担が増えている。この上での報酬改定は、利用者に重い負担のしかかり、ますます使いづらい制度になる。



【吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計】

吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計決算に対し、1名の議員が討論をおこないました。

― 反対討論 ―

市民の会・無所属

齋藤 詔治 議員

本事業開始から5年が経過、今日まで事業の諸問題を指摘してきました。建設発生土による搬入盛土内のコンクリートガラの混入・搬入盛土の土壌分析の未実施・搬入土不足による土庄不足（地盤沈下）・工事請負契約の多大な変更契約。原因は調査不十分や所有者に対する対応不足等です。今後の生活者への生命・財産・権利を守るのか心配です。また、保留地処分価格が安価で、特にデータセンター売買契約には反対でした。即事業を検証し、信頼される吉川市を目指すことを要望し、反対討論とします。

主な議案のあらまし

◆令和4年度吉川市一般会計補正予算（第4号）

既定の歳入歳出に13億9811万2千円を追加し、総額は263億1074万7千円となります。



◆吉川市手数料条例の一部を改正する条例

国の法令改正に伴い、建築行為を伴わない既存住宅の長期優良住宅認定制度が創設されたため、認定に係る手数料を定めるものです。



◆吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

一部を改正する条例

国の休暇制度に準じ、男性職員の育児参加のための休暇の対象期間を拡大するものです。現在は5日間の休暇を受けられる期間を産後8週間内までとしています。改正後は産後1年まで可能となります。



◆工事請負契約の変更契約の締結について

吉川美南駅東口周辺地区1号調整池工事（その3）の請負契約について、グラウンド整備のための盛土工事、調整池園路の転落防止柵設置工事を行うため、請負金額を変更するものです。

人事案件

◆教育委員会委員の任命について

教育委員会委員の鈴木真理氏が令和4年9月30日をもって任期満了となるため、その後任者として岡田早代子氏を選任することについて同意を得るものです。

追加議案

◆令和4年度吉川市一般会計補正予算（第5号）

1億7339万4000円

9月で終了を予定していた新型コロナウイルス感染症のワクチン接種がオミクロン株対応等ワクチンの接種に伴い、令和5年3月まで延長となるため経費を計上します。

オミクロン株対応ワクチンの対象となるのは、これまでのワクチン接種において2回以上の接種をおこない、最終接種日から5カ月を経過した12歳以上の方です。（その後、国の方針変更により接種間隔が5カ月から3カ月へ変更となりました。）

委員会審査概要

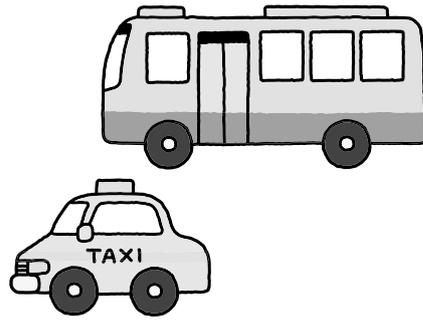
総務水道常任委員会

◆吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

現状の男性職員の育児休暇取得者数、取得率、平均取得日数は、

令和3年度は、対象者である男性職員7人全員が取得しているため、取得率は100%である。取得日数は集計していない。

賛成全員で可決



令和3年度は、対象者である男性職員7人全員が取得しているため、取得率は100%である。取得日数は集計していない。

公共施設長寿命化計画の今後の修繕計画は、

2021年から2024年までの間に修繕を行う施設として、市民交流センターおあしす、旭公園球場、総合体育館を計画している。

電気代の高騰により24施設で約1億円の電気代を計上し

ているが、財源は、

賛成全員で可決

◆一般会計決算

時間外勤務の決め方について、1日の上限は設けているのか。

1日の時間外勤務の上限の定めはないが、月45時間以下、年360時間以下になるように各所属長にお願いをしている。

賛成多数で認定

◆水道事業会計利益の処分及び決算

浄水施設で改修を必要としている工事ほどの程度か。

南配水場は、テレメータ盤のほか更新工事をはじめとして、今後更新が必要となる施設が多く残っている状況である。

賛成全員で可決及び認定



委員会報告をおこなう戸田委員長

文教福祉常任委員会

◆一般会計補正予算

学校給食センター等の光熱水費の状況は、

学校給食センターについては、電気・ガス料金の高騰により1491万9千円が不足する見込みである。

栄小、三輪野江小、旭小、南中の体育館についてLED化の工事を行うようであるが、他の学校の状況を含め、今後の予定を伺いたい。

体育館については、前年度に中曽根小、中央中、東中を

完了しており、今回の4校の工事を終えると、関小、北谷小、美南小、吉川小の4校が残ることになる。国のエネルギー基本計画どおり、当市においても2030年までには体育館や校舎の照明を全てLED等の高効率照明へ転換していく必要が出てくるため、計画的に実施していきたい。

認知症についての現状を伺う。

認知症の現状については、当市でも増加傾向にあると捉えている。認知症については、地域で見守る体制が必要であり、認知症サポーター養成講座を自治会や企業、小・中学校と幅広い世代に受講していただき、普及・啓発に努めているところである。

賛成全員で可決

◆一般会計決算

学校給食費を助成する市町村もあるが、市の考えは、

学校給食法において、給食食材費については保護者負担が定められている。仮に無償

化した場合、3億円程度の財源が必要になる。無償化の考えはない。

賛成多数で認定



委員会報告をおこなう吉川委員長

建設生活常任委員会

◆一般会計補正予算

農業経営拡大・発展等支援事業費補助金について、主食用米以外の支援と経営拡大等に対する支援の予算実績は。

主食用米以外の支援に298万円、経営拡大等に対する支援に2461万円の実績である。

水防センター建設を検討するにあたり、市が計画した内容について意見を聞くのか。

水防センターの建設規模や機能が決まっていないため、建設規模や機能などについて、検討委員会で意見を伺う。

賛成全員で可決

◆一般会計決算

人権には平等権だけでなく生命権などもあるが、どのように取り扱っているのか。

法の下の平等、個人の尊重など普遍的な視点に加え、社会で起きている人権課題を考える事が重要であると考えている。人権。パンフレットや人権ダイアリーを作成・配布、人権啓発。パネル展を行うなど人権推進事業に努めている。パートナーシップ宣誓制度の運用を開始したが課題は。頭で理解すること、人権感覚を身に着けることの間には、少し開きがあると感じる。継続して粘り強く取り組んでいくことが重要であると考え

路面標示に関してどう対応しているか。

路面標示は、中野地区、きよみ野地区、川藤地内、木売二丁目などで外側線、停止線、十字、中央線などを対応。

公園の池など水の衛生管理についてどう対応しているか。

水質については、保第三公園では水道水を利用、なまずの里公園では塩素の注入、沼辺公園では銅イオン殺菌装置により、水質悪化防止に努めている。

賛成多数で認定



委員会報告をおこなう稲葉委員長

注目の議案

**一般会計補正予算
(第4号)**

◆農業振興事業

247万円

6月3日に発生した降ひょうによる農業災害について、ネギ等の生産者や農業生産施設に対して補助金を交付します。



◆新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業

交付金活用事業のうち、主な取り組みを紹介します。

①公共交通機関整備改善推進事業

849万円

長引くコロナ禍に伴う利用者数の減少と、燃料

費高騰の影響を多重に受けている公共交通事業者に支援金を交付します。

②学校施設整備事業

2301万4000円

体育館の水銀灯を撤去し明るいLED照明を設置することで、体育館での授業環境を整えます。

また、災害時には少ないエネルギーで避難所運営が可能になり、3密回避など避難所生活の環境改善にも役立ちます。

③福祉施設等支援事業

1490万円

物価高騰のあおりを受ける障がい者福祉施設・子育て支援施設・高齢者福祉施設に対して、事業継続支援を目的に支援金を交付します。

④老人福祉センター運営事業

40万円

老人福祉センターを安心して利用できるよう、対象者に手指消毒液を配付します。

今後の市政運営に向けて



戸田 馨

問 中原市政2期目の4年間への評価と、今後の市政運営に向けて伺う。

答 現在市で取り組んでいる施策は、いずれも継続した取り組みが必須。次期市長選挙に立候補し、市の最上位計画である「第6次総合振興計画」の実現、「市民の幸福実感の向上」に向けて、全力で取り組んでゆく。

◆市民の政治参加を増やすために

問 新型コロナウイルス感染症の影響下で「投票」の権利をどう考えるか。

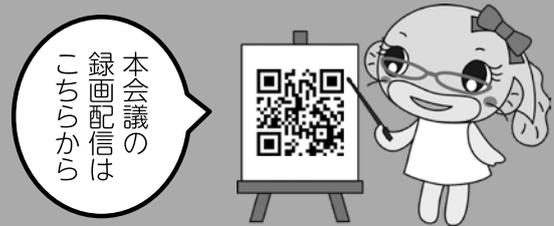
答 国は、自宅療養者等に対しては「特例郵便等投票」を可能とし、濃厚接触者については「投票のために外出することは不要不急の外出には当たらず投票所等での投票が可能」との見解を示した。そのため市選管では、投票券への同封による周知、またホームページ等で市民に案内をした。誰もが安心して投票できる環境づくりに努めることが市民の政治参加を促し、コロナ禍での投票の権利の保障につながると認識している。今後もわかりやすい広報の充実を図りながら、選挙事務に努める。

答えて市長！

一般質問

今定例会では、9月21日(水)、22日(木)、26日(月)の3日間にわたり18名の議員が市政全般について、市の見解をたどりました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、12月上旬となる予定です。



新型コロナウイルス感染症対策等 及び社会経済対策について



小野 潔

問 ①3回目、4回目のワクチン接種状況は。②5歳から11歳の個別接種状況は。努力義務化への対応は。③オミクロン株対応ワクチン接種の準備状況と接種券の発送は。④在宅療養者支援の現状。⑤現在推進の「事業者連携発展支援補助金」の状況と来年度以降も事業化しては。⑥「プレミアム付商品券発行事業」の進捗状況は。

答 ①3回目は79.2%、4回目の60歳以上は現在59%が接種。②31.2%が現在接種、正しい情報提供に努める。③9月28日から開始。おあしす、中央公民館の集団接種を中心に一部市内医療機関で、最後の接種から5カ月が経過した12歳以上が対象で接種券のない方へ順次発送する。④パルスオキシメーター延べ6,392個、食料支援807箱、今後も継続する。⑤5本、396万円交付、事業継続化は検証にて。⑥参加店241店、券申込みは紙、電子併せて24,000冊、10月1日より開始。

◆障がい者雇用について

問 民間企業経験者・障がい者枠の募集条件、「継続した3年以上の職務経験」は障がい者にはハードルが高すぎる。見直しをしては。

答 社会情勢を鑑み調査研究する。

公園等の維持管理に 協定見直しの検討は



降旗 聡

問 公園や緑道など、管理協定団体の活動実績と課題について。

答 令和3年度は44団体と管理協定を締結。公園や緑道など81カ所について除草や清掃など維持管理をしてもらっている。一部の団体では高齢化などにより、除草などの作業の継続が難しくなりつつあるとの懸念の声が寄せられている。

問 今後の協定内容の見直しについて。

答 団体ごとの事情に応じた作業内容を実施していただけるよう、他自治体の事例なども参考にしながら、協定内容の見直しを検討する。

問 地先の未舗装地などでの「花いっぱい運動」の取り組みについて。

答 道路の敷地内などにおける、緑化の取り組みについては、歩道内の植栽帯など、通行に支障のない範囲に限り、花の植栽などの緑化活動を行っていただくことは、景観の向上などに有効なものと考えている。

市としては、他自治体における先進的な事例などについて、研究していく。

成年後見人制度について

大泉 日出男



問 利用にあたって当市では、どのような方に市長申し立てが行われたのか。

答 認知症等で判断能力が十分でない方に、過去10年間で12名の方へ行われた。

問 市民後見人の育成及び実務上の課題は何かあるのか。

答 育成手法や運用面の充実、支える側のモチベーションの課題がある。

問 制度の中核となる機関を近隣自治体と共同で設置する手法はどう考えるか。

答 他市町村の事例を参考に検討していく。

◆対話型DXの推進について

問 市民の声（投書箱）の運用、周知、課題は何か。

答 政策室で取りまとめをし、HPでの周知を徹底。匿名で内容が不明瞭の際に回答ができない場合がある。

問 福井県小浜市での全国初の試み「対話型DX推進」を視察した。所見を伺う。

答 市民との取り組みを踏まえ近隣市との情報収集に努めていく。

子どもの未来応援 「校内朝の子ども食堂」

五十嵐 恵千子



問 ある市民から「朝の子ども食堂」などを実施してはとのご相談をいただいた。当市でも福祉と教育が連携し、子ども達が抱える様々な課題に気づく予防的取り組みとして、また、食育の観点からも重要な取り組みと考える。①当市で朝ごはんを食べずに登校する児童生徒の割合は。②何らかの工夫でモデル的に実施してはいかがか。

答 ①令和4年度全国学力学習状況調査の結果では「朝食を全く食べない」児童生徒の平均割合は、小6で1.3%、中3では3.3%。平成29年度の子どもの貧困実態調査では「食べない方が多い・いつも食べない」割合が、全体で小5は4%、中2は8.3%。うちひとり親家庭の小5は7.8%、中2は8.6%。低所得層の小5は8.0%、中2は8.4%と、ひとり親世帯や低所得層でその割合が高く出ている。②他自治体の事例を参考に、協議を重ね、実施する効果や課題を研究する。

◆肥料価格高騰対策の推進を

問 価格上昇分の7割を補填する支援の実施は。

答 秋ごえは10月頃、春ごえは来年5月頃からJAさわかづが申請窓口で体制を整えている。

安全安心のまちづくり

松崎 誠



問 埼玉型ほ場整備は、地域農業の活性化や農業経営の安定化を図ることを目的に、土地の所有権の移転を伴う換地を行わず、10aを基準区画として、埼玉県が実施する簡易的ほ場整備事業です。平成28年度に吉屋地区のほ場整備事業を終えて、市内で次に予定されている地区は。

答 次に予定されている地区につきましては、いくつか検討いただいておりますが、昨今のコロナ禍もあり、地域での打ち合わせ等ができず、準備会や協議会の設立に至らない状況であり、現在、具体的に予定している地区はありません。

問 江戸川堤防「なごみ提」沿いの県道三郷・松伏線は、夕方以降、道路照明も少ないことから暗く、地元の方が、県道から生活道路に侵入する際に、通り過ぎてから気づくこともあります。県道沿いに、右折・左折時の目印になる案内看板等の設置が、可能か伺います。

答 当該交差点付近には、築堤工事が始まる前に看板等があり、目印としての役割を果たしていたものと考えます。築堤工事完了後には、元の場所に看板等が戻されますので、以前と同様に左折・右折の目印の確認ができるようになります。

クビアカツヤカミキリの 桜の木への被害について

成本 直寛



問 市内において特定外来生物クビアカツヤカミキリが発生しており、桜の木への被害が報告されている。クビアカツヤカミキリは、カミキリ目シロの甲虫で特定外来生物である。成虫の体長は、約2.5～4センチメートルで全体的に光沢のある黒色で胸部（首の部分）が赤色である。繁殖力が非常に高く、幼虫が木に食入・加害することで、樹木が衰弱し、加害が進むと桜の木が枯死し、落枝・倒木等による人的被害が発生するおそれがある。市内の被害発生状況、対応、対策を問う。

答 市内において成虫およびフラス（幼虫の排泄物）が確認されている。桜の木への被害については、さくら通りで49本、道庭緑地で28本、市内公園（保、高久、高富、中川台）において29本が確認されている。対応として、薬剤注入、成虫飛散ネットの設置を行っている。枯れて倒木の危険がある樹木については伐採を進めていく。対策については、市ホームページ、パンフレット配布等で情報提供・周知に努めていく。

市内の桜並木は名所であり、桜の景観を守っていく。

なぜ吉川市は裁判するのか、 本来は話し合いをすべき

齋藤 詔治



問 吉川市は吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業で5件の裁判中です。1点目は、吉川市が令和3年9月に新たな土地明渡裁判を起訴。この敷地は産業ゾーン売却保留地の一部です。裁判中は売却できず市の対応は。2点目は、吉川市が令和2年4月20日に訴訟を提起、令和3年6月8日に取下げ。私は、この裁判は無益で吉川市の税金の無駄使いと訴えました。本年4月に吉川市に対し、土地所有者4名から4件の裁判が起こされました。事件の内容と今後の対応は。いずれも土地区画整理事業推進に当たり、【照応の原則】と財産権の侵害の訴えです。積極的な話し合いと新たな裁判が起こされない努力をお願いします。

答 1点目の令和3年9月の土地明渡裁判は、令和4年9月に判決が下されました。相手方が不服として控訴するか不明です。当該土地はデータセンターの一部保留地です。不法占有物が解消された後の対応になります。2点目の市が行った仮換指定の行政訴訟分に対し、令和4年4月14日に4名の土地所有者から仮換地指定処分取消請求を求める訴訟です。

コロナ「第7波」への 対応とワクチン接種

稲垣 茂行



問 コロナ「第7波」の市内感染状況は。

答 7月中旬から現在まで連日、数十名の感染者が報告され、7月は1,812人、8月は3,071人。令和2年に初めての感染者が出てからの累計は、9月14日時点で11,962人となっている。

問 4回目のワクチン接種状況は。

答 3回目の接種から5カ月を経過した60歳以上、18歳以上で基礎疾患のある方及び医療従事者等が対象。8月23日時点で60歳以上は、11,525人が接種し、接種率は59%。

問 草加保健所管内医療体制の現状は。

答 第2次東部医療圏では、9月10日現在、確保病床216床のうち使用病床118床で使用率は54.6%、重症者は2名。

問 新ワクチン（2価）接種の実施計画は。

答 2回目接種を終え、最後の接種から5カ月を経過した12歳以上が対象。9月28日から接種を開始する予定。

問 5歳から11歳への3回目接種は。

答 9月14日から市内6医療機関で接種を開始した。

パブリックコメントなし 緑なし北口駅前広場の改修

岩田 京子



問 吉川駅北口広場改修にあたりなぜパブリックコメント（30日以上）を実施しなかったのか。

答 警察、バス・タクシー事業者との協議、福祉・子育て団体から意見を聞き、交通の危険性、バリアフリー化、老朽化等、課題は見えた。議会には2回説明。15日間意見募集をし、23名から意見をいただいた。

問 短い意見募集期間にもかかわらず多くの方の意見が出たのは関心が高いからだ。市民参画の絶好の機会だったのでは。

答 様々な機会で、様々な手法で市民の皆様に参加いただくことが市政運営の基本。どの手法を使うかは各事業課が判断して進めている。

問 駅前広場の改修における緑化計画は。

答 中高木は道路の見通しに影響があるため、敷地外への移設を検討している。緑化については詳細設計を進める中で検討する。

問 計画があいまい。緑の基本計画で駅前は、さらに緑化を充実させ、本市の玄関口として「緑の拠点」と位置付けられている。緑被率は。

答 駅前広場は道路にあたる。緑被率は5%。

「若者支援」に 女性の困難を盛り込んで

林 美希



問 今年度発足した「若者支援の在り方検討会議」の進捗、方向性を伺う。

答 総振に掲げた若者支援施策の推進、今後の方向性を検討するために設置した。若者支援としての対象や課題の捉え方は広いと認識しているが、まずは「不登校」と「ひきこもり」を対象とし、現状やその解決に向けた手法を考えるとところからスタート。今年度中に当初報告書を取りまとめられる予定であり、可能なところからすみやかに事業化を検討していきたい。

問 「ジェンダー」「予期せぬ妊娠」について成人年齢引き下げから「詐欺被害や性的搾取の標的となりやすいこと」を課題や検討項目としてとりまとめたいただきたいがいかがか。

答 今年度の会議の中で踏み込んだ議論はされていないが、これらが起因となり支援が必要となった場合は各所管と連携しながら若者支援としても取り組む必要があると考えている。

問 若者と定義する市民にリーチする困難さをどのように捉えているか。

答 おかれている状況が様々。会議の中でも意見が交わされており、報告書で示す。

福祉タクシー券を利用者の 要望に沿って

飯島 正義



問 市が福祉タクシー利用者に対して実施した意向調査に寄せられた要望への対応を伺いたい。①1回の乗車でタクシー券を複数枚使用できるようにしてほしい。②福祉タクシー券を郵送で受け取れるようにしてほしい。

答 ①タクシー初乗り1枚までの使用を2枚まで可能とする埼玉県の見直し案への意見照会が今年6月にあった。市としては、賛同すると回答した。②来年度分から郵送で支給したい。

◆小中学校体育館にエアコン設置を

問 当議員団が請求した小中学校体育館の室温測定結果では、3年連続で「測定しているが、記録していない」との回答。室温測定結果を記録し、エアコン設置の必要性を検討すべきでは。

答 体育館へのエアコン設置の必要性は高まっていると認識している。8月31日に中学校で緊急搬送の事例があったことから、9月13日の校長会で検討し、室温測定記録を残すことになった。何かあった際のデータとして残すべきとの判断であり、エアコン設置のために記録するものではない。

自然災害に対する 吉川市の取り組みは

赤出川 義夫



問 自然災害に対する市の取り組みは。

答 防災倉庫を小中学校等指定避難所19カ所設置、各施設で浸水被害を想定し2階以上の空き教室や空きスペースに保管。

問 災害時井戸協力登録制度の登録件数、災害時飲用水として供給にあたる場合の市の水質検査実施体制・管理方法は。

答 令和元年9月から運用を開始し現在登録は1件。災害時飲用水として使用する場合は市が井戸水の濾過や消毒、水質検査を実施し安全性が確認された場合のみ供給。

問 倒壊の恐れがあるブロック塀の危険箇所と、修繕等の状況は。

答 平成30年の大阪府のブロック塀倒壊事故を受け、市では毎年ブロック塀の調査を実施している。令和3年3月時点で危険箇所は80件。その後6件の改善を確認したが、新たに9件見つかり現在の危険箇所は83件。市では危険箇所の所有者へ直接伺い、災害時の危険性を伝えると共に安全管理の徹底、修繕費用の補助金の紹介もしている。改善まで学校にも協力をいただき児童や生徒へ安全指導をお願いしている状況。

コロナの基本情報の提供 ホームページで適切に公開を

伊藤 正勝



問 第7波に続いて第8波への懸念も出ている。吉川市内の最新の感染数値を伺いたい。

答 市職員はこれまで115人で35人は会計年度職員。学校は2学期の開始から9月20日現在で児童生徒143人。教職員5人。学級閉鎖4件。学校閉鎖3件。保育所は園児403人。保育士等91人。複数感染事例8件。障がい者施設は利用者50人。スタッフ28人で複数事例は5件（いずれも昨年4月～8月末）。

問 市民は身近な吉川の実状を知りたいのではないかと。周辺の4市1町では職員の感染も適宜公表している。公共のPCR検査場の近況は。

答 コロナ情報はそのメリットとデメリットを判断し提供している。第7波は感染者が大幅に増え、当市の日々の数値報告は優先する事項には当たらない。県のホームページにも掲載。職員や学校の状況は、業務の遂行や学校運営に活用すべき情報と認識している。公共のPCR検査場はプライバシーもあり、今も非公開としている。

問 情報への感度が違う。市長の見解は。

答 私の判断を部長が述べている。興味本位な情報は私どもが流す必要はないと考えている。

ワクチン接種希望者に 判断基準となる情報を

吉川 敏幸



問 厚生労働省が毎週発表している『新型コロナウイルス感染症の国内発生動向』によれば、現在までの累計致死率は0.2%となっており、第7波（6月28日～9月13日）の期間で計算すると、100万人の陽性者当たり、10歳未満では9人、10代では1人から2人の致死率となっている。また、自治体によっては、このワクチンは特例承認されたもので治験中である旨をホームページに記載している。当市もできないか。

答 データとしてあっても、国の分析結果を正しく伝える。市で恣意的に情報を提供することで誤解やミスリードを与えることが無いよう、慎重に扱っていく。

◆三輪野江開発の進捗状況と今後のスケジュールを

問 工業団地開発の今後のスケジュールは。

答 地域説明会や地権者に意向調査を行ったところ。今後のスケジュールは、事業主体が未定で、農林調整にも時間を要するので、具体的にはお示しできないが、事業化に向けた調整の進捗状況は随時情報提供に努めていく。

**吉川駅北口駅前広場
改修は延期を**



遠藤 義法

問 来春には、さくら通りの4車線化、吉川美南駅東口の暫定供用が開始される。それ以後の車の流れを見て改修すべきではないか。

答 吉川駅北口改修は、吉川美南駅東口の暫定供用ができる、できないは関係ない。早急に改修の必要性がある。

問 吉川駅南口の利用を誘導する施策は。

答 工事期間中の利用に限定したものになる。

問 吉川美南駅東口への既存道路、とりわけクランクを無くす改修が必要だが、計画は。

答 クランクの箇所を含め道路網整備を検討しているが、方向性が見えた段階で計画書をつくる。埼玉クリック前交差点の右折帯設置は、県に要望する。

◆公契約条例の制定を

問 市が発注する公共工事やおあしす管理などの委託業務で、契約に沿って労働者への賃金が適正に支払われているか、立ち入り調査などができる公契約条例を策定するべきと考えるが。

答 立ち入りなどするためには公契約条例が必要になる。制定にあたっては十分な検討が必要と考えている。

**加齢性難聴者の
補聴器購入費用の助成を**



雪田 きよみ

問 今年3月議会に提出された「加齢性難聴者の補聴器購入に市の助成を求める請願」は賛成多数で採択された。市の対応は。

答 加齢性難聴は認知症のリスク要因。聴力の確保は高齢者の認知症予防、社会参加を促すため重要であるが、比較的安価な集音器も販売されており、公費助成を行うべき状況にない。

問 補聴器と集音器の違いは。

答 補聴器は様々な音の聞こえ方について調整して使う管理医療機器。集音器は音を全て大きくする家電製品。

問 真摯な調査が行われたのか非常に疑問。

答 補聴器と集音器の違い、活用効果、集音器が今だけ利用されているか、他市町の現実を踏まえたうえでの結論。

問 補聴器が必要でありながら、高額で購入できない方に対して、認知症予防等のために購入費用を助成してほしいとの請願。集音器と比較するべきではない。市長の判断は。

答 担当課が情報収集、検討した結果を市長に報告し、このような結論に至った。

**ホームページ、
ぜひご利用ください！**

市のホームページでは、
意見書の全文や本会議の
議録、議会活動などがご
覧いただけます。
ぜひ、ご利用ください。

吉川市議会

**自治体における DX について
どのように取り組むのか**



中嶋 通治

問 本市のDXの推進における現状と課題、今後の取り組みについて伺う。

答 市民の方々にデジタル化の恩恵を広くいき渡されることを目指している。専門講師による高齢者向けスマホ教室を9月から開催している。急速に発展するデジタル技術を効果的に使いこなしていくためには、職員の意識改革とデジタル人材の確保、育成が重要。

問 口頭やスマートフォン等の申請情報の入力により、証明書や必要な書類が入手できる「書かない窓口」、関連する手続きをワンストップで完了できる「待たない窓口」、オンライン上の電子申請で行政手続きが完了する「行かない窓口」を目指す自治体が増えているが「書かない窓口」、「待たない窓口」「行かない窓口」の認識は。

答 市役所に来庁せず、インターネット上から行政サービスを利用できる手段を普及させていく事により、サービスの向上に力を入れていく。行政手続きオンライン化と自治体の情報システムの標準化・共通化を進めていく中で取り組んでいく。

議員提出議案

意見書

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に
関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の
意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には3件の意見書が提出
され、次の1件を可決、内閣総理大
臣等へ送付しました。

衆議院小選挙区選出議員の選
挙区の改定案に関する意見書

令和4年6月16日に衆議院議員選
挙区画定審議会から衆議院小選挙区
の改定案が勧告された。同審議会
は令和2年国勢調査の結果による人
口が令和3年6月25日に公示され
て以来、衆議院議員選挙区画定審議会
設置法第2条及び第4条第1項の規
定に基づき、衆議院小選挙区選出議
員の選挙区の改定に関し、調査審議
を進めてきたとされている。

改定案では、1票の格差を2倍未
満としたほか、小選挙区ごとの有権
者数の較差が縮小され、これまで課
題とされていた各小選挙区における
行政区の分断が整理されるなど、一
定の成果が表れている。

一方で、吉川市を含む埼玉県第14

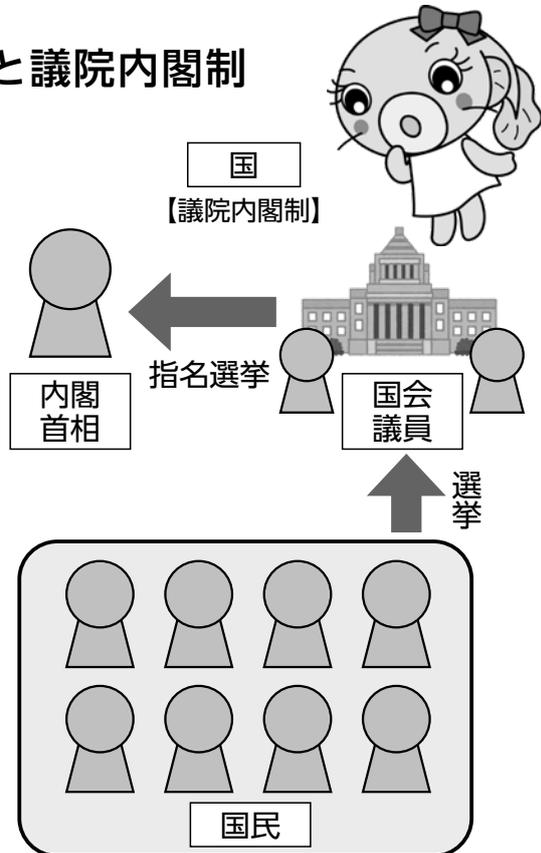
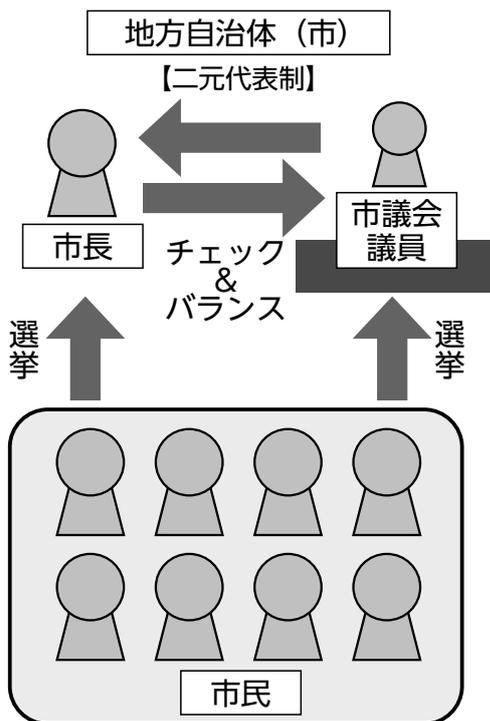
選挙区においては、現行の区割り
を3分割するという大きな変化があり、
戸惑いを覚えずにはいられない。

吉川市はごみ処理を埼玉県東南部
5市1町で構成する東埼玉資源環境
組合で行っている。消防は吉川松伏
消防組合で担っている。併せて現在
の小選挙区は平成の大合併以前の北
葛飾郡を踏襲したものであり、この
地域は埼玉県東南部地域の治水事業、
農業を支える葛西用水路土地改良区
事業など歴史的結びつきは強い。

選挙区の見直しは1票の格差のみ
でなく、当該地域の広域行政の実情
や歴史的背景などに十分に反映される
べきである。また、政治や選挙をわ
がごとくして身近に感じるには当該
地域の課題の一体性や、地域住民の
生活圏域なども検討されるべきであ
る。今回の改革案ではこういっただ
が欠けていると指摘せざるを得ない。
よって、当該地域の実情を考慮
した区割りに見直すことを強く要望
する。

市議会豆知識

◎二元代表制と議院内閣制



※埼玉縣市議会議長会事務局職員研修会資料を基に一部修正

9月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)
◎=議案提出者、— =退席、除=除斥

	議決結果	自由民主党			市民の会			未来会議		共産		公明		無	無						
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
《市長提出議案》																					
吉川市建築基準法に基づく申請等に係る手数料条例及び吉川市まちづくり整備基準条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市児童福祉審議会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道の路線廃止及び認定について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	議決結果	自由民主党					市民の会			未来会議		共産		公明		無	無				
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
令和4年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
《議員提出議案》																					
衆議院小選挙区選出議員の選挙区の改定案に関する意見書	可決	○	○	議	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
旧統一教会と政界との癒着の徹底説明を求める意見書	否決	×	×	議	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	○	○
防衛費を「GDP比2%」に増額することに反対する意見書	否決	×	×	議	×	×	○	×	×	×	×	×	◎	○	○	×	×	×	×	○	○

* 会派名の「自由民主党」は「自由民主党吉川市議員団」、「市民の会」は「市民の会・無所属」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」の略です。「無」は会派に属さないものです。

◆ご意見・ご感想を
お寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお寄せください。

〒342-8501
吉川市きよみ野一丁目1番地
吉川市役所 議会事務局
FAX 048(981)5392

新型コロナウイルス感染症対策への
ご協力ありがとうございました

今定例会につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力をいただき、ありがとうございました。引き続き、皆様のご協力のもと議会運営を進めて参りたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



次定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。 本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。					12月2日 本会議 (開会日)	12月3日 休会日
12月4日 休会日	12月5日 休会日 (議案調査日)	12月6日 本会議 (議案審議)	12月7日 委員会 (総務水道・文教福祉)	12月8日 休会日 (建設生活)	12月9日 委員会 (請願審査)	12月10日 休会日
12月11日 休会日	12月12日 休会日 (委員長報告作成日)	12月13日 本会議 (委員長報告)	12月14日 本会議 (一般質問)	12月15日 本会議 (一般質問)	12月16日 本会議 (一般質問・閉会日)	

傍聴時のお願い

- 静粛にすること
- 議場での言論に対し、拍手等により可否を表明するような行為を行わないこと
- 騒ぎ立てる等議事を妨害しないこと
- 携帯電話等の電子機器の電源を切ること
- 係員の指示に従うこと

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。
 ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

表紙の写真

9月10日に新潟市民芸術文化会館で西関東吹奏楽コンクールに出場し、2年連続金賞を受賞した南中学校吹奏楽部の皆さんです。

この度は、受賞おめでとうございます。春から練習を重ね、当日は素晴らしい演奏を披露されたと伺っています。

これからも演奏を通じて多くの方へ感動を届けていただきたいと思います。応援していただきます。



編集後記

さわやかな空が広がり、外で過ごすことが気持ちの良い季節ですね。9月の定例会では、6月の降ひょう被害に遭われた市内農業者への補助費が含まれた一般会計補正予算が可決されました。度重なる台風への備え等、天候に左右されながら大切につくられた農作物が私たちの食卓に届けられています。そんなご尽力に思いを馳せながら、一緒に秋の味覚を楽しみましょう！今号が発行される11月は「子ども・若者育成支援推進強調月間」。すべての子ども・若者が白らの居場所を得て、成長・活躍できる社会を目指すとされています。未来への希望である子ども・若者への施策を注視しながら、日頃から見守ってくださいという市民のみなさまへ感謝申し上げます。

林美希